



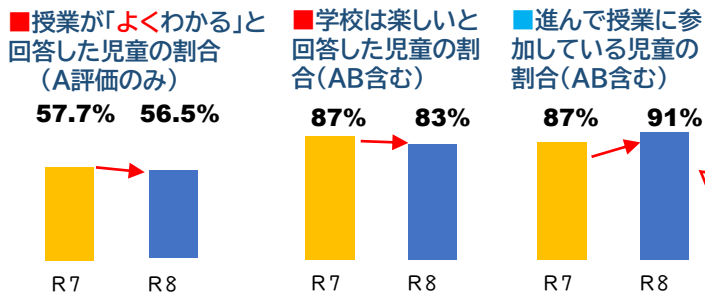
■成長する2学期になるように

まだまだ残暑厳しい日々ですが、38日という長い夏休みを終え、学校に子どもたちが戻ってきました。2学期82日間の始まりです。少し日に焼けた子どもたちが大きなけがもなく、2学期を迎えられたことがとても嬉しく思います。夏休みの間、子どもを見守ってくださったご家庭・地域の皆様に深く感謝いたします。2学期の学校行事による豊かな体験とあわせ、魅力ある授業実践に努めてまいります。今学期もご協力のほどよろしくお願いいたします。

■【報告】学校評価アンケート(抜粋)

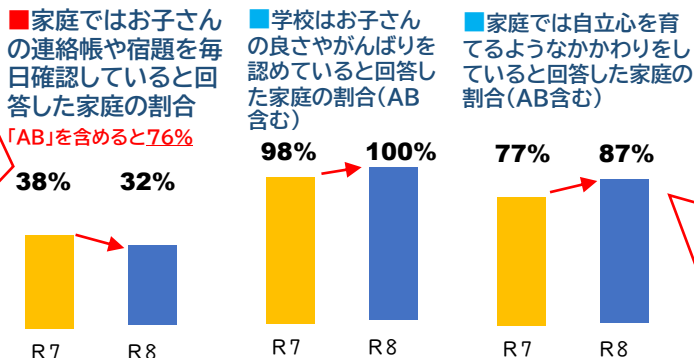
1学期末に実施した児童・保護者アンケートの結果をまとめましたのでお知らせします。児童については、読書への関心、運動への取り組みが若干低下しており、対策の必要性を感じました。保護者アンケートでは、家庭学習時間やゲーム時間に課題を感じていること、ご家庭でよいところをほめ、学校のことをよく話していることがうかがわれました。今回の結果をもとに、さらに教育効果を高めるよう学校運営の改善に努めてまいります。なお、全体の結果は学校ホームページに掲載しています。

ー児童アンケートー



子どもたちは学習に対してとても前向きで頑張っています。

ー保護者アンケートー



昨年と比べると少し下がってきています。連絡帳の確認をお願いします。

家での役割(お手伝い等)を与え、声掛けしていただいているおかげです。子どもたちの評価も上がっています。

■8.6平和の日の意味

8月6日に平和集会を開きました。今年は戦後81年になります。近年は暑さ対策のため夏休みの登校日を廃止している地域もあると聞きますが、唯一の戦争被爆国である日本に住む私たちは、8月6日、9日、15日の持つ意味を知り、平和の大切さを学んでいくべきだと考えています。

集会では、長崎に修学旅行に行く6年生が事前学習をし発表してくれました。また、南友会研修部の方々による絵本『ぼくのこえが聞こえますか』の読み聞かせも行われ、戦争や平和への思いを深める一日となりました。今後も年間を通して平和について考える学習を進めていきます。



研修部の方々による読み聞かせ

9月の行事予定

- 3日(木) 南友会9月例会
- 4日(金) オーラボ理科教室
- 11日(金) 3年社会見学
- 19日~20日(土日) 父親部有志主催段ボールキャンプ
- 27日(日) 親子除草作業 原則全員参加

※今年度の運動会は10月17日(土)予定です。



小規模校の強み

八月十九日の大分合同新聞で、佐伯市が小中学校を三十三校から十五校へ統合を検討しているというニュースが報じられました。文部科学省の調査によると、全国では毎年約四百五十校もの公立学校が廃校・統廃合となつていきます。実にこの二十年足らずで全国の小中学校の約二割にあたる数千校が姿を消した計算となり、地域の維持は今や日本全国共通の大きな課題です。便利さや効率性が重視される現代社会の中で「田舎で暮らす豊かさ」が見えにくくなり、地域の将来に不安を感じられる方も少なくないでしょう。しかし、こうした時代だからこそ、豊かな自然と密な人間関係に囲まれた環境で育つ価値を再評価したいと考えています。大規模校にはない小規模校最大の強みは、「一人ひとりが主役になれる環境」と「手厚い教育」です。子どもたちの小さな変化や頑張り、すくすく伸びる指導、学年を超えたきょうだいのような絆、そして地域の方々に温かく見守られながら育つ体験は、子どもたちの生きる力の土台となります。時代の移り変わりの中でも、子どもたちが「この地域」と学校で育つてよかった」と胸を張れるよう、少人数だからこその質の高い教育を追求し、地域と共に歩む学校運営に尽力してまいります。2学期も温かいご支援をお願い申し上げます。